



## もにす認定おめでとうございます！



令和6年12月4日に、障害者雇用促進法に基づく「もにす認定企業」として、株式会社 しまおう への認定通知書交付式を執り行いました。



長崎労働局長 倉永 圭介 (株)しまおう 代表取締役 山本様



(左から) 田中職業対策課長・五島公共職業安定所長・倉永長崎労働局長・(株)しまおう 代表取締役 山本 様・(株)しまおう 山本 恭子 様

～ 株式会社 しまおう 様にお話をお伺いしました ～

Q. しまおうでは障害者を5名雇用されていますが、新しく受け入れられるときにどういった仕事ならフィットするのかといった仕事の切出し等もされているのでしょうか？

いろいろ仕事がありますが、細かい仕事が合っている方とか、大きい仕事が合っている方とか、長時間同じ仕事ができる方とか、それぞれの個性があるので、それぞれの部署で役割を与えています。

Q. 最初はそういう形で始まって、その後また本人の特性が見えてきて、本人の関心があれば他の仕事も、ということで広げていく感じでしょうか？

一つの仕事だけで終わることは不可能なので、これができるならこれもできるだろうということで広げていく感じですが。工場の人前に出ないということもあるので、喋らない方もいるが、チームワーク、コミュニケーションは取れています。

Q. 障害者雇用をされることによって、会社としてよいことはありますか？

その人が障害者だと思って働いている人はいない気がします。一般の人と同じ感じで働いてもらっており、従業員同士の声かけや挨拶は同じようにしているし、確かにこの仕事はできないというのはあるが、それは分かっていることで、その分は他の従業員がやるからこれをやってね、という風にうまくやれています。

Q. しまおうさんで5名の知的障害の方がいらっしゃって、主に製造関係に就いているようですが、障害者を雇う上で、何を重視されているかお聞きしたい

まずは仕事の丁寧さですね、作業速度は慣れてくれば速くなるので。

Q. 障害者就業・生活支援センターと連携しているようですが、普段利用されていて、良い点を教えてください。

話合いの中でお互いのニュアンスで意見の食い違いなどあるのではないかとあって、障害者就業・生活支援センターとジョブコーチを利用しています。

雇用側、障害者双方の話を聞いてもらい話がまるく収まって、さらにコミュニケーションが深まり、作業の効率も上がったように思います。